

式 辞

日出町を彩った桜から早くも若葉が萌え立ち始め、あたり一面に若い生命の息吹が感じられる今日の良き日に、多くの保護者の皆様の出席をいただき

令和2年度大分県立日出総合高等学校の入学式が厳粛かつ盛大に挙行できますことを心より厚く御礼申し上げます。

ただいま、入学を許可いたしました新入生の皆さんご入学おめでとうございます。

期待と不安を胸にあらためて身の引き締まる思いでいることと思いますが、教職員及び在校生一同、皆さんの入学を心から歓迎いたします。

新入生の皆さん、今日こうして入学がかなったのは、もちろん皆さんの努力の成果ですが、同時に保護者の方、先生方など多くの方々の支えがあったおかげでもあります。支えてくれた方々への感謝の気持ちを忘れることなく、これからの学校生活に取り組んでください。

本校は昨年110周年を迎え県下でも有数の歴史と伝統のある学校です。

平成二五年度に山香農業高校と日出暘谷高校を発展的に統合し農業科、工業科、総合学科を併置した総合選択制の高校として、新しい第一歩を踏み出しました。そして皆さんは、日出総合高校の八期生となるとともに、その歴史に新たな一ページを築くことにもなるのです。

本校は「向学、感謝、剛健」の校訓のもと、「知育、徳育、体育のバランスの取れた教育を実践し、一人一人の個性の伸長と他者との協働を図るとともに、豊かな人間性とグローバルな感覚を備え、社会の発展に貢献する人材を育成する」ことを教育目標にしています。「向学」は確かな知識や活力を身に付けること、「感謝」は思いやりの気持ちと協調性を育むこと、「剛健」は健全な心と身体の育成を目指すことを表します。

皆さんもこの校訓を心の指針としてこれからの日々を送ってほしいと思います。また、日出総合高校には、「農業経営科」「機械電子科」「総合学科」の3つの学科があり、全学科の生徒が他学科の科目を選択することが可能な総合選択制を取り入れています。学びの内容や進路目標（就職から進学）は学科によって異なりますが、共通していることは「社会に貢献できる人づくり」を目指していることです。

今教育を取り巻く環境は加速度的に変化し、予測のつかない社会へと変化しつつあります。このような環境下であるからこそ、皆さんは、生涯にわたる力すなわち未来を切り開く力と意欲を身に付ける必要があります。そこで大切なことは、皆さん自身が、来るべき将来に備え、「社会に飛び立つための基礎」をこの学校で確実に身に付けるという確固たる考えをもち、実践することです。3年後の目標を定め、勉学に励むことはもちろん、部活動やボランティア活動等を通して、心身を鍛え、磨き、たくましく成長してください。

そこで、充実した高校生活を送るために3つのことをお願いしたいと思います。

1つ目は、「社会生活の基本である礼節を身に付けて下さい」高等学校は社会に役に立つ人間を形成する場であり、そのための教育を行う場です。「挨拶、礼儀、身だしなみ、モラル、時間の管理」が大切な軸となります。元気に挨拶することこれらは社会生活の基本です。基本的な生活習慣を身に付けることは自主自立の心を培う事であり、学力の向上や体や心を作っていく上での基本とも言えます。学校だけではなく登下校で地域の方と出会った時も挨拶をしましょう。地域との繋がりや地域を大切にすることが育まれます。

2つ目は「ひたむきに努力する」ことです。

「才能の差は小さく、努力の差は大きい。継続の差は更に大きい」と言われます。まさしく、努力に勝るものはありません。将来の夢や目標を実現すべく、希望をもって、日々の勉学に励んでください。

3つ目は「自分の可能性を信じて、自分自身を高める」ことです。今の皆さんは、様々なことに挑戦出来るまたとない貴重な時間が与えられています。人は生涯を通して、健全な心と体が必要となります。是非、学校行事、部活動や生徒会活動、ボランティア活動等に主体的に参加し心身を鍛えてください。皆さんには可能性があります。その可能性を信じて色々な事に挑戦して下さい。そして、将来振り返った時、ここで過ごした時間は充実していたと思えるように過ごして欲しいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆様、改めて、ご入学、おめでとうございます。私達教職員は一人一人を大切に立派な社会の一員となるように教育に全力を尽くします。生徒の健全な成長のためには、学校教育のみで図れるものではありません。学校とご家庭の連携を密にし、それぞれの役割を果たしながら、協力をしていくことが大切であると考えています。どうぞ、本校の教育方針をご理解頂き、ご支援・ご協力をお願いします。

結びに、新入生の皆さんが、本校での高校生活を通して自らを磨き、輝きそして自信と誇りを持ち、大きく成長することを心から祈念して式辞と致します

令和2年 4月 9日

大分県立日出総合高等学校

校長 長岡幸次郎